

JMFF

日機連週報

第3512号 2025年7月18日(金)

CONTENTS

● 講演会報告

日機連 WEB 講演会「ISO13855:2024
—人体の接近に対応した安全防護物の位置決め」を開催

● 政府公開情報

- 「データガバナンス・ガイドライン」の公表について
- 「デジタルエコシステム官民協議会」が発足

● 委員募集中

技術イノベーション研究委員会のご紹介

● RRI 活動報告

「ドイツ標準化ロードマップ(Ver.5)」の指摘事項の進捗内容を報告
—「ドイツ標準化ロードマップ進捗状況報告書 邦訳」をリリース—

● 日機連の動き

● お知らせ

(一社) 日本計量機器工業連合会 Youtube サイト

「メジャーチャンネル / Measure Channel」のご紹介

(一社) 日本分析機器工業会 初心者向け教材「映像でわかる 分析機器の原理

と使用法」～早稲田大学と JAIMA が共同監修～について

(一社) 日本包装機械工業会 包装システムのIoT 標準化指針「JPack-Fmt」

正式発表ウェビナー講演スライドの一般公開について

「インド・フランス CEO 商談会」参加者募集! (9/16~9/18 大阪開催) <中小機構>

「環境技術 CEO 商談会」参加者募集! (9/29~10/3 京都開催) <中小機構>

日機連ではホームページを開設しておりますのでご利用下さい。

URL : <https://www.jmf.or.jp>

[バックナンバーはこちらから](#)

<禁無断転載>

● 講演会報告

日機連 WEB 講演会「ISO13855:2024 —人体の接近に対応した安全防護物の位置決め」を開催

日機連では、国内産業界への機械安全普及活動の一環として講演会を開催し、主要な国際規格を紹介する他、機械安全に関する幅広い情報を発信している。

本年度は、「ISO13855:2024—人体の接近に対応した安全防護物の位置決め」と題して、2025 年 7 月 3 日(木)に WEB 講演会を開催した。

本講演会では、昨年に改訂版が発行された ISO 13855:2024(人体の接近に対応した安全防護物の位置決め)について、規格の概要、改訂の経緯、主な変更点等を国際エキスパートの齋藤剛氏 [(独法)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所]より説明した。(文責:日機連)。

WEB講演会「機械安全規格の紹介」【敬称略】

■ 14:00~14:05 主催者挨拶
一般社団法人 日本機械工業連合会 標準化推進部長 宮崎 浩一

■ 14:05~15:05 ISO 13855:2024 人体の接近に対応した安全防護物の位置決め
独立行政法人 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
新技術安全研究グループ 部長 齋藤 剛

注意事項：ビデオ及びマイクはオフにしてください。

JMF 一般社団法人
日本機械工業連合会

講演会次第

[講演要旨]

[「ISO13855:2024—人体の接近に対応した安全防護物の位置決め」\(PDF ファイル 5,780KB\)\(禁無断転載\)](#)

[(独法)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

新技術安全研究グループ 部長 齋藤剛氏]

・ISO 13855 の概要

・改正履歴と第 3 版の箇条構成

・主な改正点

- 1) 静的隔離距離と動的隔離距離
- 2) 電氣的検知保護装置に係る要求事項
 - 検出能力に応じた追加距離
 - 垂直検出区域の下端からの迂回
 - 平行検出区域の高さに応じた追加距離
- 3) 安全関連手動操作制御装置に係る要求事項
- 4) 手／足操作式シングル操作制御装置に係る要求事項

[標準化推進部]

● 政府公開情報

「データガバナンス・ガイドライン」の公表について

企業がデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進していくうえでは、自らが保有するデータを最大限活用し、持続的な企業価値の創出につなげていく視点が極めて重要です。こうした考え方に基づき、デジタル庁では、企業による「データガバナンス(保有するデータを安全かつ効果的に活用するための全社的な取り組み)」の必要性や、そのあり方、実践に当たっての要点・留意点等をまとめた企業経営者向けガイドラインを策定、本年 6 月 20 日に公開しました。

詳細は、以下ホームページを参照願います。

<https://www.digital.go.jp/news/71bf19c2-f804-488e-ab32-e7a044dcac58>

AI やビッグデータの活用が不可欠となる現代社会において、データガバナンスは、組織が競争力を維持・強化するために不可欠な要素となっています。データの品質、セキュリティ、コンプライアンスを確保することで、データに基づいた意思決定を促進し、ビジネスの成功を後押しします。本ガイドラインは、企業の経営層、データ責任者(CDO)、およびデータに関わる全ての従業員が、データガバナンスを理解し、実践するための指針となります。ガイドラインを参考に、組織の状況に合わせたデータガバナンス体制を構築・運用することで、データ活用の効果を最大化し、企業価値の向上に繋げることが期待されます。

[総務部]

「デジタルエコシステム官民協議会」が発足

JDEP Japan
Digital Ecosystem
Partnership

本年 6 月 20 日、データ連携・利活用の取組を生み出す、デジタルエコシステムの形成を官民で促進する、「**デジタルエコシステム官民協議会**」が発足しました。本協議会は、日本経団連による昨年 10 月、今年 5 月の「産業データスペースの構築に向けた提言」を受けてスタートしたものです。事務局はデジタル庁、経団連、情報処理推進機構が担います。コアアクティビティとして以下の三つが上がっています。

- データ連携・利活用のユースケースの発掘・組成・促進
- 国内外の動向に関する調査・分析及び情報発信
- 官民協働フォーラムの開催

Japan Digital Ecosystem Partnership

デジタルエコシステム官民協議会

データ連携・利活用の取組を生み出す、デジタルエコシステムの形成を官民で促進

詳細は、以下ホームページを参照願います。

<https://www.ipa.go.jp/jdep/>

デジタル化が進む現代社会において、データは新たな価値創造の源泉であり、その効果的な連携・利活用は社会の持続可能性や産業の競争力を左右する極めて重要な要素となっています。他方、データ連携・利活用の重要性は広く認識されつつありますが、具体的なユースケースの創出は道半ばです。

本協議会では、データ連携・利活用を促進するエコシステムの形成に向けて、官民の連携の下で、ユースケースを数多く創出するため、好事例の共有、知見の提供、案件の掘り起こし等により、関連する様々な取組を支援するとともに、データ連携環境の整備や、国内外の動向に関する調査・分析及び情報発信を行っていく予定です。

〔総務部〕

● 委員募集中

技術イノベーション研究委員会のご紹介

日機連では、分野別に 4 つの研究委員会(技術イノベーション研究委員会、GX研究委員会、グローバル・バリューチェーン研究委員会、企業マネジメント研究委員会)を設置し、会員参画の下で活動を行っています。会員企業、会員団体のみなさまは、登録(委嘱)手続きのみで委員会へのご参加が可能となりますので、この機会に是非ご登録をご検討ください。

今回、ご案内するのは技術イノベーション研究委員会です。

技術イノベーション研究委員会では、「(1) 社会経済構造変化に対する機械産業の課題」、「(2) DX による製造業のイノベーションに関する調査」、「(3) 最新の先端技術のトレンド把握と注目技術の情報収集」を柱にテーマ設定を行い、有識者をお招きして意見交換及び課題検討を行っています。

<第 9 回技術イノベーション研究委員会>

●日 程:2025 年 8 月 5 日(火) 14:30~16:00

●テーマ:「モノづくり現場の新しい安全~ICT 活用と協調安全で安全・健康・ウェルビーイングを実現する~(仮)」

●講 師:明治大学 顧問、名誉教授、校友会名誉会長

公益財団法人 鉄道総合技術研究所 会長

セーフティグローバル推進機構(IGSAP)名誉会長 向殿 政男 様

今回、研究委員会への登録にご興味をお持ちの会員様を対象に、お試しでの Web 参加を受け入れます。会場でのご参加は、研究委員会へのご登録後に可能となります。お試し Web 参加をご希望の方は、以下、必要事項を 7 月 25 日(金)までに事務局メールアドレスにご連絡ください。研究委員会当日までに Web 会議用の招待メールをお送りします。研究委員会へのご登録に際しては、役職・年次・年齢等の制限は一切ございませんので、是非お気軽にご検討ください。なお、お試し Web 参加をされた会員様には、後日、研究委員会へのご登録に関するご案内をお送りしますので、予めご了承ください。(会員様の委員登録は、無料です)

<お試し Web 参加 お申込み例/申込期限:2025 年 7 月 25 日(金)>

件 名:第 9 回技術イノベーション研究委員会 お試し Web 参加希望

本 文:①企業名/団体名:一般社団法人日本機械工業連合会

②ご所属:経営企画部 ③ご役職:主任 ④氏名:機械 花子(きかい はなこ)

⑤メールアドレス:sample123@jmf.or.jp

お試し WEB
参加募集中

<委員会登録お問い合わせ先>

事務局:日本機械工業連合会 業務部(gyomu@jmf.or.jp)

[業務部]

● RRI 活動報告

「ドイツ標準化ロードマップ(Ver.5)」の指摘事項の進捗内容を報告
ー 「ドイツ標準化ロードマップ進捗状況報告書 邦訳」をリリースー

ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会(RRI)は、2025 年 4 月に開催されたハノーバーメッセ 2025 にて、ドイツ SCI4.0 (Standardization Council Industrie 4.0)より発表された “German Standardization Roadmap Industrie 4.0 Progress Report” (ドイツ標準化ロードマップ進捗状況報告書)の邦訳を公開しました。(RRI 会員限定報告)

ドイツ標準化ロードマップは、相互運用性、主権、持続可能性という三つの側面に焦点を当て、Industrie 4.0 の概念を産業アプリケーションに実装するための標準化活動について詳細に説明しており、継続的にアップデートされています。現在の最新版は 2023 年に発行されたバージョン 5 で、この進捗状況報告書は、バージョン 5 で指摘された項目の現在の状況を示すものとなります。

特に、デジタルツイン、アセット管理シェル、セマンティクス、産業用通信、AI の産業への応用といった技術分野における国際的な標準策定の取り組みと、それらの実現に向けた課題や今後の展望を概説しています。また、データスペースの安全性と信頼性の確保や、デジタル製品パスポート(DPP)の推進についても言及しています。

本邦訳版は、原本の発行元であるドイツ SCI4.0 (Standardization Council Industrie 4.0)の協力のもと、RRI/IoT による製造ビジネス変革 WG/国際標準化支援 AG(WG1/AG1)の活動の一環として製作致しました。

なお、本書は RRI 会員限定のリリースとなります。「会員サイト」内の「RRI 会員向けサイト」「RRI 会員向けサイト お知らせ情報」よりダウンロード頂けます。

ここでは本文の目次を含む冒頭部分をご紹介します。

<https://www.jmfrri.gr.jp/library/library-6114/>



ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会
Robot Revolution & Industrial IoT Initiative

〔ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会(RRI)〕


 日機連の動き

○ 今後の会合予定

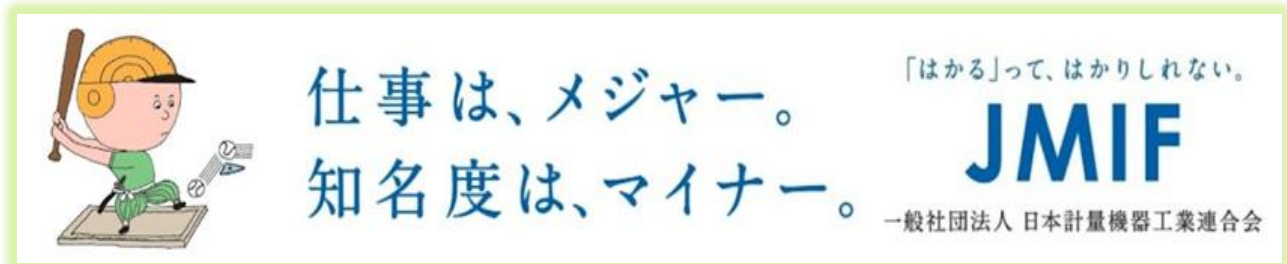
開催日時		会 合 概 要	場 所
7 月	23 日(水) 15:30～	第 11 回企業マネジメント研究委員会 講演テーマ:「事業変革を進めるにあたってのグローバル経営管理と 人材戦略(実践から得た事例の共有)(仮)」 講師:三井化学(株) オーラルケア事業部長 小野 真吾様 (前 グローバル人材部 部長)	日機連会議室 1
	31 日(木) 14:30～	第 9 回 GX 研究委員会 テーマ:「日本のエネルギー基本計画と気候変動を巡る「世界の潮流」 の変化(仮)」 講師:国際環境経済研究所 理事・主席研究員 東北大学特任教授 U3 イノベーションズ合同会社 共同代表 竹内純子様	日機連会議室 1
8 月	5 日(火) 14:30～	第 9 回技術イノベーション研究委員会 テーマ:モノづくり現場の新しい安全 協調安全と Safety 2.0 人・モノ・環境、3 者の情報共有。 講師:セーフティグローバル推進機構(IGSAP) 会長 明治大学名誉教授 向殿政男様	日機連会議室 2 お試し WEB 参加募集中
	8 日(金) 15:00～	第 489 回総務連絡会	日機連会議室 1
	22 日(金) 15:00～	第 79 回社員満足向上懇話会 懇談会 (大阪事務所)	日機連大阪事務所 (大阪市北区)
	22 日(金) 15:30～	第 11 回 GVC 研究委員会 講演テーマ:「世界のエネルギー情勢、資源外交と安全保障～資源 小国 日本が目指すべき姿～(仮)」 講師:一般財団法人日本エネルギー経済研究所 専務理事 首席研究員 研究戦略ユニット担任 小山 堅様	日機連会議室 1
	26 日(火) 15:00～	第 10 回 GX 研究委員会 見学会 見学先:日立製作所中央研究所「協創の森」 内容:日立製作所中央研究所のサーキュラーエコノミーの取組みと 「協創の森」の紹介、および見学	日立製作所中央研 究所「協創の森」 (東京都国分寺市)

お知らせ

(一社)日本計量機器工業連合会(計工連) Youtube サイト
「メジャーチャンネル / Measure Channel」のご紹介

一般社団法人 日本計量機器工業連合会(計工連)は、計量機器製造事業者の団体です。

(一社)日本計量機器工業連合会(計工連)では、YouTube サイトに【メジャーチャンネル/Measure Channel】を開設し、会員企業の紹介・製品動画、計量に係わる動画をUPLしておりますので、ぜひご覧ください。



YouTube【メジャーチャンネル/Measure Channel】バナー

○ Youtube サイト「メジャーチャンネル / Measure Channel」

<https://www.youtube.com/channel/UCJJMOi3BktMqpZZydpXCzEA>



また、(一社)日本計量機器工業連合会(計工連)では、他にも計量器機に関する様々な諸情報をオフィシャルサイトで公開しておりますので、併せてご覧ください。



計工連、オフィシャルサイトをチェック！！

(一社) 日本分析機器工業会 初心者向け教材
「映像でわかる 分析機器の原理と使用法」～早稲田大学と JAIMA が共同監修～について

一般社団法人 日本分析機器工業会(JAIMA)と早稲田大学は、理工・医学・人文社会科学の専門出版社である丸善出版の分析機器に関する初心者向け教材(動画)を共同監修し、企画打合せから 1 年以上の期間を経て完成、このほど全国の大学生協や書店にて販売されることになりました。

本初心者向け教材(動画)は、液体クロマトグラフィー/ガスクロマトグラフィー/吸光光度分析法/質量分析法の全 4 巻で構成され、JAIMA 技術委員会と連携と協力に関する包括協定書を締結している早稲田大学が共同監修し、制作されたものです。

(一社)日本分析機器工業会の会員企業である各分析機器メーカーと早稲田大学 技術職員により“どのような内容であれば初心者でも分かり易く理解できるのか?”に正面から取り組んだものであり、メーカー/ユーザーの両視点から監修された貴重なものとなります。東京理科大学 中村 洋名誉教授にも監修ご協力いただき、非常に完成度の高い内容となりました。

(一社)日本分析機器工業会は、今後も分析機器に関する人材育成を目的とした事業などに積極的に取り組み、これらを通じて分析機器業界の発展に寄与するとともに、社会課題解決に貢献して参ります。

記

教材名:

「映像でわかる分析機器の原理と使用法 (全 4 巻)」

- ①液体クロマトグラフィー
- ②ガスクロマトグラフィー
- ③吸光光度分析法
- ④質量分析法

教材(動画)の詳細情報は以下のサイトをご覧ください。

<https://www.maruzen-publishing.co.jp/search/s106333.html>

※ 丸善出版 WEB サイトへリンク



また、(一社)日本分析機器工業会では、他にも分析機器の技術情報、産業関連等の様々な情報をオフィシャルサイトで公開しておりますので、併せてご覧ください。



(一社)日本分析機器工業会、公式ホームページをチェック!!

(一社) 日本包装機械工業会 包装システムの IoT 標準化指針「JPack-Fmt」
正式発表ウェビナー講演スライドの一般公開について

一般社団法人 日本包装機械工業会 (JPMMA)では、2025 年 5 月 12 日に開催した「JPack-Fmt:包装システムにおける IoT 標準化指針 正式発表ウェビナー」で、日本包装機械工業会 IoT WG が策定を進めてきた、**包装システムにおける IoT 標準化指針「JPack-Fmt」**について、その概要、策定の背景、計算例を伴った具体的な内容、そして今後の展望について詳しくご説明いたしました。

この度、ウェビナーにご参加いただけなかった方や、改めて内容を確認したいという皆様からの多くのご要望にお応えし、講演で使用された全スライド資料を一般公開いたします。

JPack-Fmt は、包装機械・システム間のデータ連携を円滑にし、スマートファクトリー化を推進するための共通言語です。本資料を通して、JPack-Fmt へのご理解を深めていただき、皆様の事業における IoT 導入・活用の一助となれば幸いです。ぜひダウンロードしてご活用ください。

・公開資料

JPack-Fmt:包装システムにおける IoT 標準化指針 正式発表ウェビナー 講演スライド一式

資料ダウンロードは、一般社団法人 日本包装機械工業会 (JPMMA)の公式サイトのこちらからどうぞ。

記

ウェビナー概要

名称: JPack-Fmt:包装システムにおける IoT 標準化指針 正式発表ウェビナー

開催日時: 2025 年 5 月 12 日(月)15:00~17:00 主催: 日本包装機械工業会 IoT WG

内容: JPack-Fmt 策定の背景と目的	JPack-Fmt の概要と構成
JPack-Fmt カテゴリー説明と計算例	今後の展開と業界への期待
質疑応答	お問い合わせ

JPack-Fmt に関するご質問やご不明な点がございましたら、お気軽に下記までお問い合わせください。

一般社団法人日本包装機械工業会 技術部 担当: 榎矢 隆一(Ryuichi Masuya)

〒104-0033 東京都中央区新川 2-5-6 包装機械会館 3 階

TEL:03-6222-2279 FAX:03-6222-2280

E-mail: gijyutu@jpmma.or.jp URL: <http://www.jpmma.or.jp>

また、(一社)日本包装機械工業会では、他にも包装機械の技術情報、産業関連等の様々な情報をオフィシャルサイトで公開しております。併せてご覧ください。



一般社団法人 日本包装機械工業会

(一社)日本包装機械工業会、オフィシャルサイトをチェック!!

この度、独立行政法人 中小企業基盤整備機構(中小機構)より、2件の商談会の広報依頼がありましたので、お知らせいたします。

記

「インド・フランス CEO 商談会」参加者募集！(9/16～9/18 大阪開催) <中小機構>

日本の中小企業のビジネスマッチングを促進するため、「インド・フランス CEO 商談会」を 9/16～9/18 に大阪で開催いたします。

本商談会には、日本製品の購入・代理店契約、日本企業との合弁会社設立、共同開発などを希望する自動車、機械・電子機器、AI・IT、エネルギー、食品・サービスなどの分野から計 33 社の海外企業経営者等が参加しますので、輸出拡大、ビジネス拡大を目指す企業の皆様は奮ってお申込みください。

- ◆詳細・お申込みはこちら <https://service.smrj.go.jp/cas/customer/apply/f4d24a5d97c54e229c122ee0da797a75>
- ◆海外企業の概要はこちら https://jgoodtech.smrj.go.jp/pub/ja/lp_ceo/infra/assets/pdf/infraolist.pdf

<開催概要>

- ◆開催日程 : 2025 年 9 月 16 日(火)～9 月 18 日(木)
- ◆申込締切 : (仮申込)2025 年 7 月 28 日(月)終日
(本申込)2025 年 7 月 31 日(木)18 時
- ◆開催方法 : 対面商談(会場は大阪)又はオンライン(Microsoft Teams)
※ 来日する海外企業は、8 月下旬ごろに確定見込みとなります。
※ 対面商談される日本企業を優先いたします。
- ◆募集対象 : 海外販路開拓、海外展開を目指す中小企業
- ◆参加費 : 無料
- ◆参加国・地域 : インド、フランス
- ◆主催 : 独立行政法人中小企業基盤整備機構
- ◆問い合わせ先 : 独立行政法人中小企業基盤整備機構 販路支援部マッチング支援課
TEL:03-5470-2375 Email:ceo-network@smrj.go.jp

「環境技術 CEO 商談会」参加者募集！(9/29～10/3 京都開催) <中小機構>

日本の中小企業のビジネスマッチングを促進するため、「環境技術 CEO 商談会」を 9/29～10/3 に京都で開催いたします。

本商談会には、日本製品の購入・代理店契約、日本企業との合弁会社設立、共同開発などを希望する「産業機械・装置 7 社、リサイクル 8 社、IT、IoT 7 社、エネルギー 7 社、水処理 5 社、建設・建材 9 社、食品・消費財 5 社、素材・材料・部品 6 社」の計 54 社の海外企業経営者等が参加しますので、輸出拡大、ビジネス拡大を目指す企業の皆様は、奮ってお申込みください。

- ◆詳細・お申込みはこちら <https://service.smrj.go.jp/cas/customer/apply/832ebc18377e4e6e87e49a18dd76bfd6>
- ◆海外企業の概要はこちら https://jgoodtech.smrj.go.jp/pub/ja/lp_ceo/ceoecotech2025/assets/pdf/ecotechlist.pdf

<開催概要>

- ◆開催日程 :2025 年 9 月 29 日(月)~10 月 3 日(金)
 - ◆申込締切 : (仮申込)2025 年 7 月 28 日(月)終日
(本申込)2025 年 7 月 31 日(木)18 時
 - ◆開催方法 : 対面商談(会場は京都)又はオンライン(Microsoft Teams)
※ 来日する海外企業は、8 月下旬ごろに確定見込みとなります。
※ 対面商談される日本企業を優先いたします。
 - ◆募集対象 : 海外販路開拓、海外展開を目指す中小企業
 - ◆参加費 : 無料
 - ◆参加国・地域 : ドイツ、フランス、インド、インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア、
ベトナム、韓国、香港、台湾等
 - ◆主催 : 独立行政法人中小企業基盤整備機構
 - ◆問い合わせ先 : 独立行政法人中小企業基盤整備機構
TEL:03-5470-2375
- 販路支援部マッチング支援課
Email:ceo-network@smrj.go.jp

